

新年を迎えて

JAしずない女性部 部長 船越 孝子



新年明けましておめでとうございます。
います。

組合員、各関係機関の皆様におかれましてはご家族お揃いでご健勝且つ輝かしい新年を心新たに迎えられました事を、心よりお慶び申し上げます。日頃より当女性部活動に対し、深いご理解とご協力、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年も天候に左右される中、各業種におかれましてはご苦労されたように思います。私もJAだより11月号を拝見し痛感しております。

女性部活動も2月に無事総会を終えることが出来、安堵しております。2月末には、10月の農業まつりに備え、カボチャしるこの

作り方を講習して頂いたり活動に向け準備をしていたところ、新型コロナウイルスによる感染症が発生し、以後感染拡大防止の為、全ての活動を中止せざるをえなくなりました。

コロナ禍で女性部も本来の活動の自粛を余儀なくされましたが、中止となった活動を地域貢献に充てられないものかと役員で話し合い、事務局のアドバイスを頂いたりし、新ひだか町静内地区の9つの病院で働く医療従事者に、ミニトマト「太陽の瞳」を、感謝の気持ちと応援メッセージ、そして女性部もぎたて朝市会のPRも兼ね、印刷物を添え寄贈することになりました。

日頃、私達も地元医療を支える人達にお世話になっている中、地場野菜を送って応援すると共に、野菜の消費拡大を目指したところ、この事に対し病院の方からお礼の文をいただきました。「このようなど支度を頂き当職員にとつて大変な励みであり、今後、より充実した医療活動の力になります。これから全職員が一丸となって、安

心、安全な医療を提供出来る様、努めてまいる所存でございます。」と記してあり、私達の思いを伝える事が出来たことを嬉しく思いました。

良く耳にします「SDGs（国連の持続可能な開発目標）はいずれ社会の常識」「協同組合や女性部活動は事業自体がSDGsと親和性が高い」「一人では出来なくても仲間で解決する」等、私達の活動は持続可能な社会を築くことに繋がっていると、自らの手で地域を輝かせ、そして自ら輝いていく必要性があるとの事だそうです。今後、この新型コロナウイルス感染症がどの様な形になっていくのか、いつ終息出来るのかわかりませんが、先は一人一人が我が身を守るため、大変ですが我慢忍耐の日々を過ごすことだと思えます。頑張りましょう。

新型コロナウイルス感染症が落ち着き活動が出来る様になりましたら、組合員、各関係機関の皆様にご理解、ご協力、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。本年も皆様におかれましては、心身ともに健やかで、幸多き年であります事をご祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。

JA共済

建物更生共済

予測できない

「自分」は、「我が家」は、
「大丈夫」
と考えていませんか？

自然災害。

起こってしまったからでは遅い自然災害！ もう一度備えについて確認してみませんか？

詳しくはJAしずない共済課まで(TEL 0146-42-1053)

